黒ヶ谷営農組合、レンタル無角和牛で農地保全

萩農林事務所畜産部
平成23年７月17日

平成23年７月12日(火)に、萩市佐々並の黒ヶ谷営農組合が、農用地の保全管理目的で、農林総合技術センター畜産技術部の繁殖牛２頭をレンタルし、山口型放牧を開始しました。

佐々並地域での山口型放牧は今年で２年目になり、地域の方々にも放牧の取り組みが定着しつつあり、クズ、カヤ、セイタカアワダチソウ主体の耕作放棄地(50a)の省力的保全管理に期待が膨らみました。

萩農林事務所畜産部は、放牧による農用地の省力的保全管理と肉用牛経営の低コスト化の推進に努めます。

耕作放棄地放牧

関係者一体の取り組み